

いじめの起きない学校づくり

学校のアクション

○学校全体の取り組み

協同した学びの場を設定し、すべての子どもに学びを保障する

いじめを絶対に許さない人権意識を育てる

少人数を生かして、全教職員共通理解のもと子どもに関わり、授業や学校生活全般でみていく

校内研修や子どもと教師、教師間の情報共有により児童理解に努める

学級の問題を担任一人で抱え込まない開かれた職員関係に努める

○教師としての姿勢

- ・子どものよいところやがんばりをすぐ具体的にほめる
- ・教師の間違いや勘違いは、子どもに素直にあやまる
- ・悪いことには毅然とした態度で臨み、人間としての姿勢をしっかりと見せる

○いじめの早期発見

- ・子どものサインを学校、家庭で気付けるよう努める（アンケートやリーフレットの作成）
- ・休憩時間の会話や遊びなど学校生活全般で職員全員の目で見守る

○保護者・地域との連携

- ・子どもの少しの変化も見逃さないために日常より保護者との信頼関係を築き、連絡や家庭訪問に心がける
- ・学校の取り組みを家庭・地域に紹介し、学習参観や発表会など多くの機会を通して、常に開かれた学校をめざす



児童のアクション

- ・みんなが安心して気持ちよく過ごせるルールづくり（話し言葉 あいさつ）
- ・子ども同士の人間関係づくり（みんな遊び 児童会や学級会行事）
- ・子ども一人ひとりの活躍の場（委員会活動 中学校との合同行事）

保護者・地域のアクション

- ・日常の情報交換を密にした学校との連携
- ・地域の行事を通しての児童との関係づくり
- ・保護者同士の信頼関係
- ・学校行事への積極的な参加



いじめの早期対応

- ① なんらかのサインに気付いたときには、早急の実態把握を行う
- ② いじめられている子どもを守る
- ③ 「いじめは絶対に許さない」という担任や学校の姿勢を家庭・地域に伝える
- ④ いじめている子どもの指導と支援